

知っていますか？

ごみの行方

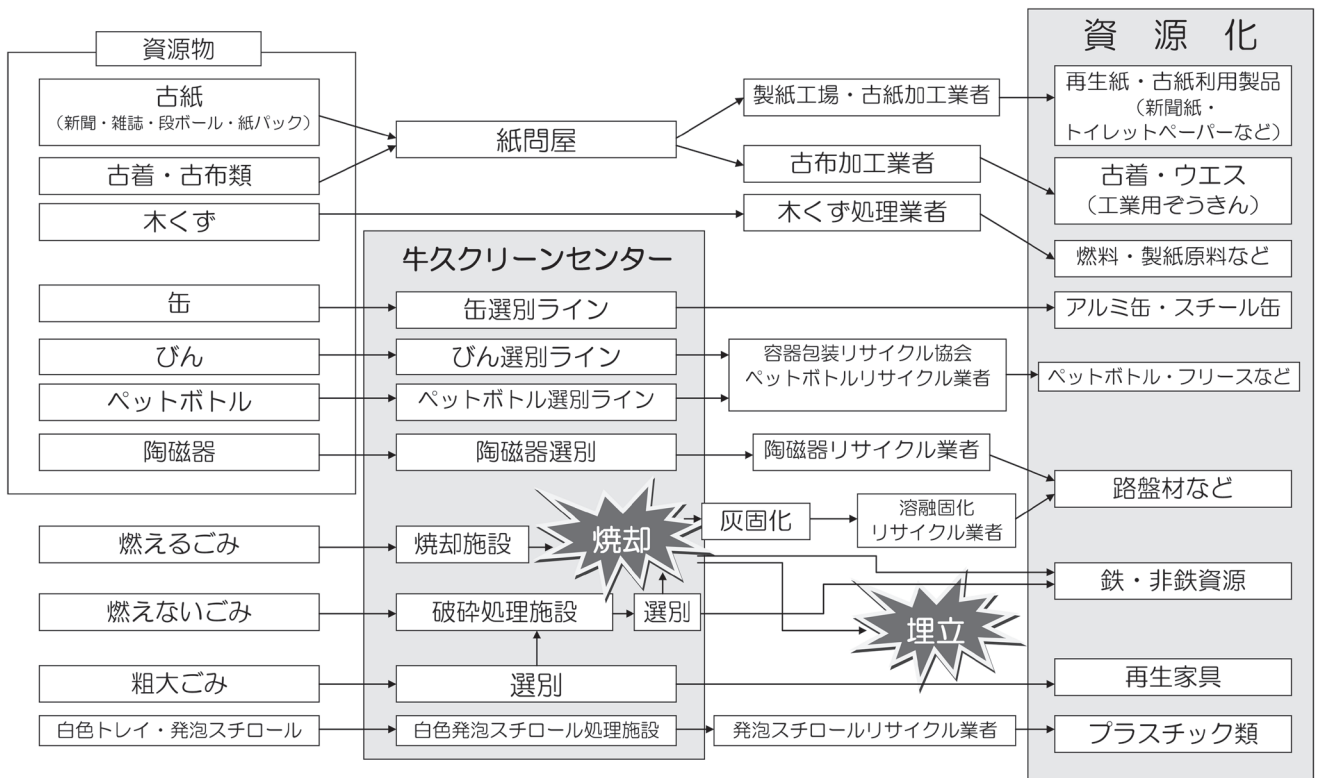
皆さんが普段捨てているごみが、その後どうなるか知っていますか？

集積所に捨てられたごみや持ち込まれたごみは、牛久クリーンセンターなどで選別して資源化、焼却、埋め立てされます。平成23年度の総ごみ量2万9280トンのうち、資源化できたのは7240トンで、全体の約24%でした。つまり、ごみの多くは焼却されていることとなります。

ごみを焼却するには多くのエネルギーやコストがかかります。牛久クリーンセンターの焼却炉はお正月以外の毎日24時間稼働していますが、ごみがなくなることはありません。また、ごみを焼却すると必ず灰が残ります。灰も一部は資源化できますが、残りは市外の最終処分場に埋め立てするため、そのコストも掛かります。

市ではごみについて細かい分別をお願いしていますが、それは少しでも多くのごみを資源化するためです。皆さんのひと手間と意識がごみを減らす近道ですので、ご協力をお願いします。

【図1】 資源物・ごみの行方



◆皆さんが出したごみの行方を簡単にご紹介します。図1のように、ごみは皆さんが分別した先でさらに選別され、資源化されています。しかし、燃えるごみはそのまま焼却されてしまいます。燃えるごみに資源物を混ぜないように、ご協力をお願いします。

今さら聞けない!

大人のための 清掃工場見学会

毎

日当たり前のように捨てていくごみ、「捨てた後どうなっているの?」など、知っているようで知らないことはありませんか?

そこで、大人の方向け見学会を今年も開催します。牛久クリーンセンターの中を実際に見学して、ごみがどのように処理されているのか学んでみましょう。今回は特別に牛久クリーンセンター工場棟内部に入れます。参加者には「環境保全茨城県民会議」制作の限定手拭いをプレゼント!

日時 10月10日(水)午前10時～

集合場所 牛久クリーンセンター

リサイクルプラザ研修室(2階)

対象 市内に在住の方(大人限定)

定員 先着30人

参加費 無料

申し込み方法 参加希望の方は、

牛久クリーンセンターまで直

接お電話ください(月～土曜日

午前8時45分～午後4時30分)

申・問 牛久クリーンセンター ☎

830・9333